

LivePremier™ series

Aquilon RS1, RS2, RS3 and RS4

Aquilon C and C+



ANALOG WAY®
Pioneer in Analog, Leader in Digital

ハイエンドなステージングやシステムインテグレーションにおいて最高レベルのパフォーマンスを提供する
拡張可能なモジュラー式4K/8Kマルチスクリーンプレゼンテーションシステム/ビデオウォールプロセッサ



卓越した性能

LivePremier™シリーズは多機能なデジタル接続能力や卓越したリアルタイム 10/12 ビット 4:4:4 映像処理能力、クラス最高の画質、そして超低レイテンシーかつ真の 4K60p 性能を各入出力に備えます。本シリーズは Aquilon RS1, RS2, RS3, RS4 の 4 機種ならびに様々な用途に合わせて拡張できるモジュラー式の 2 モデル Aquilon C, C+ で構成されます。将来においても有効なハードウェア構造を持つ LivePremier™シリーズは 8K や高フレームレート等の顧客ニーズに応えるべく設計されています。

業務用に相応しい高信頼性

LivePremier™プラットフォームはミッションクリティカルな用途で最高水準の性能を発揮するように、そして頻繁な運搬や負担の大きいライブイベントに耐える頑しさを持つよう開発されました。ヘビーデューティなモジュラー式設計や、信頼性を実証されているゆえに選ばれた最高品質のコンポーネント、そしてホットスワップ可能なリダンダント電源やスマートな熱管理等の機能を組み合わせることで、LivePremier™シリーズは長時間運用において安定した動作を提供します。

最高の構成フレキシビリティによる多機能性

LivePremier™シリーズはモジュラー式設計を採用しているため、入出力カードを簡単に交換して多様な接続方法に対応し、ソースやディスプレイの要求に対応させることができます。LivePremier™シリーズがシャーシ毎に備えるのは、個別スクリーンまたはエッジブレンド済みワイドスクリーンやリサイズ可能な AUX 出力として構成できる最大 24 入力と 20 出力、2 系統の専用マルチビューワー出力、そして 4K ならば 12 個、HD ならば 24 個まで自由に割り当てできるミキシングレイヤーです。LivePremier™シリーズはカスタム出力フォーマットや出力回転、AOI、ベゼル補正等のクリエイティブなディスプレイ構成を扱うことができる強力な機能も提供します。

洗練された機能

LivePremier™シリーズは使う人の創造性を解放して完璧な素晴らしいライブプレゼンテーションを制作することをお手伝いする最新鋭のリアルタイム処理機能を有します——真のシームレスなスイッチングやフライングレイヤー、進化したカット & フィル、最先端のキーイングエンジン等々です。外付けの音声ディエンベディング機材も不要になります：数クリックするだけで簡単に、音声は映像ソースからディエンベッドされ、オンボードの Dante™カードを使って直接ルーティング、そしてディスプレイや記録装置やストリーミングに送るために外部音声プロセッサから再度エンベッドされます。

最上のユーザーエクスペリエンス

新たに練り直されたウェブベースのユーザーインターフェイスは直感的に使うことができ、シンプルでありながら最先端で、設定と操作を簡単なものにしてユーザーがすぐに使用できる多様な機能を持ちます。

up to 24
inputs

up to 20
outputs

4K60
4:4:4
10-12 bit

2
multi-
viewers

HDR
compliant



HDMI
2.0

DP 1.2

12G-SDI

HDCP
2.2

Aquilonの主な機能

- 業務用に相応しい高信頼性
- モジュラー式の拡張可能なアーキテクチャー
- 最大 24 系統のシームレスな 4K60p 入力、20 系統の 4K60p アクティブ出力
- 現場交換可能な入出力カードのフルセット：HDMI2.0, DP1.2, 12G-SDI
- 真の 4K/8K プロセッシング (10/12 ビット 4:4:4)
- 4K で 12 個まで、DL/2K で 24 個までのミキシングレイヤー (+ライブバックグラウンド)
- HDR10 と HLG に準拠した HDR (2020 年 Q2)
- ライブソースをサムネイル表示する直感的なウェブベース GUI
- Dante™ オーディオネットワークングハードウェアのネイティブサポート
- 将来性を考慮したフューチャープルーフ設計

Aquilonモデル	RS alpha	RS1	RS2	RS3	RS4	C	C+
4K60p 入力数	8	16	16	24	24	16 まで	24 まで
4K60p 出力数	4	8	12	12	16	16 まで	20 まで
最大 4K レイヤー数	4	8	8	8	12	8 まで	12 まで
最大 DL/2K レイヤー数	8	8	16	16	24	16 まで	24 まで
同時 4K 静止画像チャンネル数	12	12	12	24	24	12 まで	24 まで
BTO 方式						✓	✓
ラック単位	4	4	4	5	5	4	5

主な特長

LivePremier™プラットフォーム搭載

クリーニング可能なエアフィルターを備えた頑丈な高信頼性シャーシ

ホットスワップ可能なリダundant電源

シャーシ毎に最大 24 系統のシームレス入力と最大 20 系統のアクティブ出力

全入出力チャンネルにて真の 4K60p 10 ビット 4:4:4 対応

様々な接続方法に対応する現場交換可能な入出力カード

任意の入出力カードが利用可能：HDMI2.0, DP1.2, 12G-SDI

シングル、ダブル、クワッド端子として 4K60p 入出力をサポート

プレビューやマルチビューワーを制限することなく、プログラム出力上で 10 ビット 4:4:4 @60Hz にて最高 120 メガピクセルのスループットを実現

スケーラーモードとスクリーンのセットアップに応じて、4K で 12 個または Dual/2K で 24 個までのミキシングレイヤー（単一レイヤーの場合は 4K で 24 個または Dual/2K で 48 個まで）

4K にて 24 個、2K にて 48 個までの同時静止画像表示

各出力で非スケーリングのシームレスなバックグラウンドミキサー（瞬間的な静止画像やライブソースを使用）

フレキシブルなレイヤー・マネジメント

全ソースを全ミキシングレイヤー上でシームレスにクロスフェード

すべての非 PGM 出力上でスケール 4k60p AUX 機能を装備

超低レイテンシーな 10 ビットおよび 12 ビットプロセッシング

ほぼ無制限なビデオキャンバス上にプログラム出力を配置可能

LED ウォール向けの先進ピクセルピッチ管理

構成可能な 4K マルチビューワー出力が 2 系統。また各出力にはクロックやカウンタ（カウントダウン）やタイマーを含む 24 個のサイズ変更可能なウィジェットを搭載

HDR10 と HLG に準拠した HDR（2020 年 Q2）

Dante™オーディオネットワークハードウェアのネイティブサポート（64×64）

ポートレートディスプレイの管理（2020 年 Q2）

独立した出力レート

フレームロックまたは内部シンクジェネレーター

Web RCS：直感的で迅速に操作できる HTML5 ウェブベースのユーザーインターフェイス

ビデオサムネイルを GUI 上にライブ表示

複数オペレーターによるリアルタイムのコラボレーション

パスワード保護とユーザー権限（2020 年 Q2）

全スクリーンと AUX 出力上でプリセット表示を簡単に作成して呼び出し可能

非標準な表示用途向けのカスタム出力フォーマット

出力のアクティブ領域をカスタマイズする AOI（Area of Interest）機能

静止画像はロゴの透明背景用に可変アルファチャンネルをサポート

カット＆フィル（ソース 2 つあるいはソース 1 つと静止画像 1 つを使用）

オフラインのコンフィギュレーションや練習のためのシミュレーター（2019 年末）

各入出力での EDID 管理

HDCP 1.4 互換、HDCP 2.2 互換（2020 年 Q2）

フューチャープルーフなモジュラー設計

静粛性：周囲温度が 32°C 以下の場合、1 メートル位置での平均ノイズは 49 dB

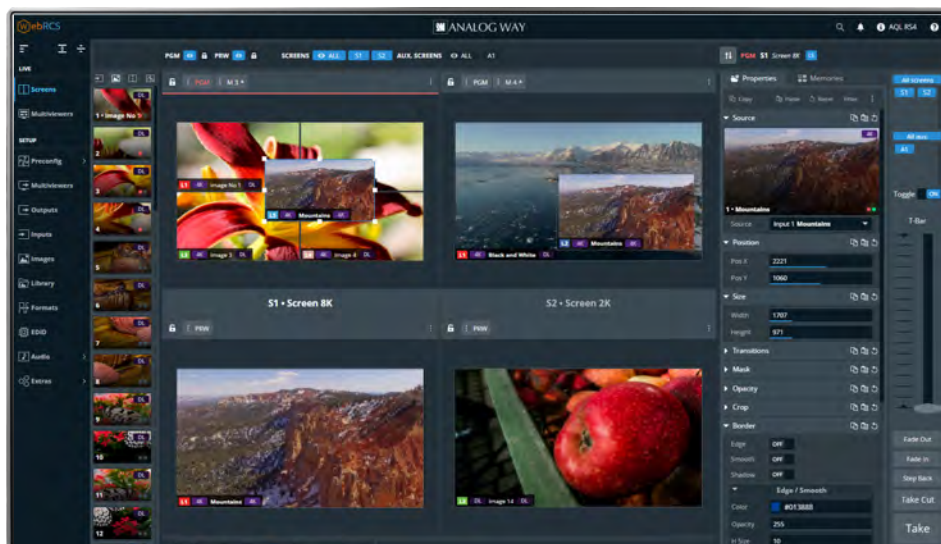
リモートサービスおよびメンテナンス

バックアップおよびリストア機能

Web RCS：卓越した使い易さ

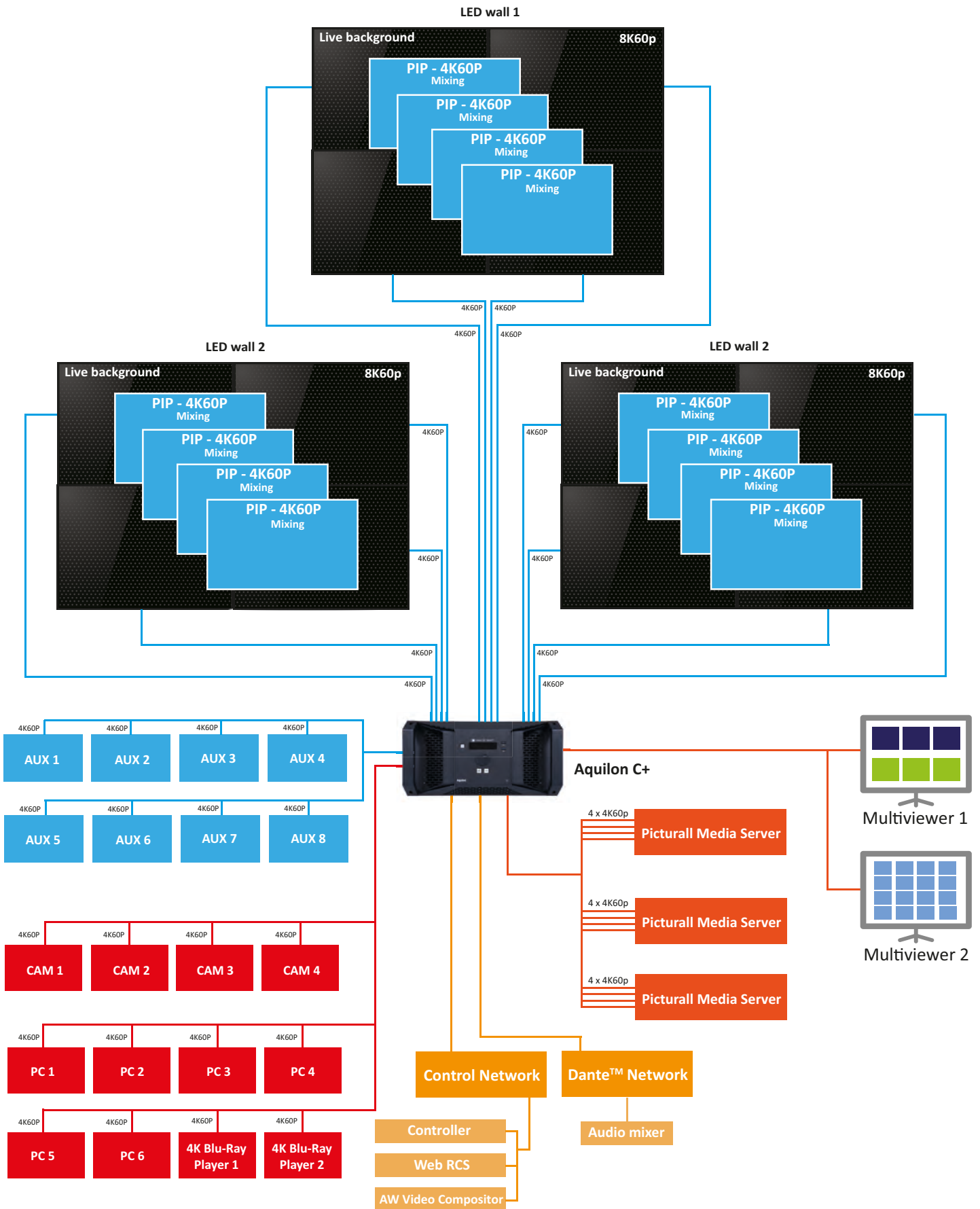
LivePremier™シリーズは極めて簡単な設定を実現し、マルチスクリーンプレゼンテーションの淀みない制御を確実なものとするべく考えられたエレガントで習得し易いウェブベースの内蔵アプリケーション **Web RCS** を特徴とします。**Web RCS** は iOS や Android デバイスを含むプラットフォームと互換性のある最新のウェブテクノロジーを採用し、オペレーターに文字どおり指先だけの操作で、レスポンスかつ高度にインタラクティブでイマーシブなエクスペリエンスを提供するように設計されています。

生産性を高め短期間で習得できるように考えられた **Web RCS** は、接続したソースの高画質ライブサムネイルや、パスワード保護とユーザー権限管理が可能な複数オペレーターによるコラボレーション、多言語サポート、ウォークスルーガイド、キーワード検索等の設定や操作をシンプルにするユニークな機能を提供します。



Web RCS は iOS および Android デバイスを含む様々なプラットフォームとの互換性を有します

フル装備の Aquilon C+ は 1 台で 8K60p LED ウォール 3 基と 4K60p AUX 出力 8 系統を楽々と扱うことができます



技術仕様

映像入力部
8, 16, または 24 のシームレス 4K60p 入力を可能にする現場スワップ可能な入力カード—— 3 種類のカードを用意 （装着可能数は筐体サイズによって異なります）：
・ HDMI 2.0 コネクタ ×4. それぞれが 4K60p 8 ビット 4:4:4, または 4K60p 12 ビット 4:2:2, 4K30p 12 ビット 4:4:4 までをサポート
・ DisplayPort 1.2 コネクタ ×4. それぞれが 4K60p 10 ビット 4:4:4 または 4K60p 12 ビット 4:2:2 までをサポート
・ 12G-SDI コネクタ ×4. それぞれが 4K60p 10 ビット 4:2:2 までをサポート。また 3G-SDI および 6G-SDI 互換
シングル, ダブル, クワッド端子として 4K60p 入力をサポート
8192x1080@60p または 1080x8192@60p (別名 8k x 1k) 等のカスタム入力フォーマットを単一コネクタでサポート
トラブルシューティングを容易にするコネクタ部ステータス LED インジケータ

映像出力部
現場スワップ可能な出力カード 5 枚を介する 20 までのアクティブな 4K60p 出力—— 3 種類のカードを用意 （装着可能数は筐体サイズによって異なります）：
・ HDMI 2.0 コネクタ ×4. それぞれが 4K60p 8 ビット 4:4:4, または 4K60p 12 ビット 4:2:2, 4K30p 12 ビット 4:4:4 までをサポート
・ DisplayPort 1.2 コネクタ ×4. それぞれが 4K60p 10 ビット 4:4:4 または 4K60p 12 ビット 4:2:2 までをサポート
・ 12G-SDI コネクタ ×4. それぞれが 4K60p 10 ビット 4:2:2 までをサポート。また 3G-SDI および 6G-SDI 互換
シングル, ダブル, クワッド端子として 4K60p 出力をサポート
8192x1080@60p または 1080x8192@60p (別名 8k x 1k) 等のカスタム出力フォーマットをコネクタ 1 つでサポート
トラブルシューティングを容易にするコネクタ部ステータス LED インジケータ

マルチビュー出力部
4K30p で 2 つまで, または 2560x1440@60p で 2 つまでもしくは 4K60p 1 つとして構成可能な専用 HDMI 2.0 出力を 2 系統
各出力に 24 個のリサイズ可能なウィジェット
50 個までメモリー可能なカスタマイズレイアウト
モニター入力およびスクリーン (プログラムおよびプレビュー)
ビルトインのクロック, カウンター (カウントダウン), タイマー

レイヤーとバックグラウンド
ミキシングレイヤー (シームレストランジション) と個別レイヤー (カットトランジション) をサポート
最高 3 枚の映像処理カード, スケーラーモードとスクリーンのセットアップに応じて, それぞれが 4K で 4 個または Dual/2K で 8 個のミキシングレイヤーをサポート (シングルレイヤーの場合は 2 倍)
ライブ入力, 静止画像 (あるいはシングルレイヤー用のスクリーン) のいずれかをレイヤーのソースとすることができます
各出力にシームレストランジションをサポートする非スケーリングバックグラウンドミキサーを搭載 - 静止画像やライブソースをバックグラウンドソースにすることが可能

スクリーン
出力は個別のスクリーンやエッジブレンド済みのワイドスクリーンとして構成可能
Dual/2K60p では 20 個まで, 4K60p では 12 個までのプログラム出力 (搭載された映像処理カードと出力カードの数による)
フレキシブルなレイヤー管理: 各スクリーンは共通プールのレイヤーリソースを用いる様々なサイズ (2K, 4K 等) の専用レイヤーが使用可能
1,000 個のユーザー定義可能なスクリーンプリセットと 500 個のマスタープリセット

スケーリング AUX 出力
使用しない出力はスケーリング AUX 出力として構成可能
4K60p で 20 個までのスケーリング AUX 出力 (搭載された出力カードの数による)
任意の入力またはスクリーンを表示可能 (1:1 またはスケーリング)

HDCP
HDCP 1.4 準拠. HDCP 2.2 互換 (2020 年 Q2)

オーディオ
各入出力での音声のエンベディング / ディエンベディング (生音声)
ソースから音声をディエンベッドしてオンボード Dante ™カードを用いて直接ルーティング
外部オーディオプロセッサから音声を再エンベッドしてディスプレイやストリーミング / レコーディング機材へ送出可能
48 kHz での 64×64 Dante ™チャンネル, または 96 kHz での 32×32 Dante ™チャンネル
デュアルリダクションのイーサネットポート - AES67 のサポート

プロセッシング
Analog Way 独自の第五世代スケーリングエンジン搭載
適切に構成された場合, 1 フレームという極めて低いレイテンシー
モーション補正デインターレース
BT.601, BT.709, BT.2020, BT.2100 の各カラースペース
先進のピクセルピッチ管理およびベゼル補正
HDR10 と HLG への HDR 準拠 (2020 年 Q2)

トランジションとエフェクト
真の A/B ミックス
多様なレイヤーのボーダーエフェクト / カラーやドロップシャドウ
トランジション: Cut, Fade, Slide, Wipe, Circle, Stretch, Depth, Flying Layer (プログラム可能な経路上を動く)
レイヤーエフェクト: Background Cut, Transparency, Luma/Chroma Key, DSK, H&V Flip, Cut, Fill
カラーエフェクト: B&W, Negative, Sepia, Solarize

静止画像
4K で 24 個または 2K で 48 個までの同時静止画像 (搭載する静止画像処理カードの数による)
リサイズ可能な静止画像 - アルファチャンネルをサポート
100 個のメモリーを持つ静止画像ライブラリー
Web RCS を介する複数ファイルのダウンロード / アップロード - ライブ入力からのキャプチャー

コントロール
Web RCS : 極めて直感的にドラッグ & ドロップが可能な HTML5 ベースのインターフェイスを搭載
Shot Box ² /Control Box ² : コストパフォーマンスの高い制御ソリューション
新型コントローラー (2020 年 Q1)
シンプルな REST API (HTTP & TCP) および JSON に基づく上級者向け TCP プロトコル
AMX/Crestron ドライバー
AW VideoCompositor: 優れたドラッグ & ドロップ操作性を備える Crestron® GUI

その他の機能
タリー / GPIO
Framelock, Blackburst, Tri-level Sync 向け専用 BNC (ループ出力付)
オフラインのコンフィギュレーションや練習のためのシミュレーター (2019 年末)

拡張性
シンプルな接続による拡張性 (将来のハードウェアアップグレード)

① 仕様は製品改良のために予告なく変更されることがあります